

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 2 9 年 7 月 2 7 日 ( 木 )		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	7 月 2 7 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	7 月 2 7 日 午 前 1 1 時 1 5 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、熊谷次長、栗津副参事、		
	武藤学務課長、教育政策室 川和田担当課長、細井学校給食課長、		
	津田生涯学習課長、小須田図書館・郷土博物館長		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、片桐主任		
傍 聴 人	2人		

## 会議の経過及び結果

教育長

日本の学校は今夏休みの真っ直中です。夏休みについて大きく2つ思うことがあります。ひとつは、明治14年に文部省は夏季冬季休業を取るよう通達し、一部地域を除き、すでに7月下旬から8月末まで休むパターンが定着していました。

その夏休みが、授業時間数の確保などに対応を迫られ全国各地で短縮化の波に洗われています。本市は1週間早め35連休ですが、何と16連休への大幅な短縮を検討する自治体も現れ注目を浴びています。さらには、夏休みを1週間程度、別の時期に移して大型連休化する「キッズウィーク」も動き出しています。これも休み期間の短縮につながる可能性があります。子供は好奇心まで短縮されては困ります。

もう一つは、教員の側に目を向けると教員の夏季休暇は5日しかありません。私が教員になった頃は、「学校の先生は夏休みがたくさんあっていい」と言われていました。未だにそう思っている人もいます。確かに昔は約42日間〇〇研修などの名目で、それこそバケーションを謳歌していた方々もいたように記憶しています。

そのような状況を少しでも解消するため、今年から県教委が研修や会議等を設けなかったとして、8/11～16日までのサマーリフレッシュウィークに、戸田市の小中学校は学校閉庁日とするなどして、少しでも年休などと組み合わせ休暇を長く取れるようにしました。

海外に目を向けると、フィンランドでは教員に2か月の夏休みがあります。公立小中学校の先生は大人気の職業で、大学の教員養成学部の競争率も常に10倍を超えています。

かつて私が訪ねたイギリスの中学校では、ソファが並ぶカフェのような職員室は和やかな雰囲気でした。ティータイムもあります。校内研修が充実し、個々の先生の裁量も大きいためか、午後2時半頃に授業を終え、2時間ほど翌日の準備をして家路に就きます。もちろん部活動など

	<p>なく、生徒は地域のスポーツクラブなどに通っています。</p> <p>一方、日本の中学校では、6割の先生が「過労死ライン」を超えて残業に携わっているとの報告があります。国際学力調査の成績でフィンランドを上回るようになった日本です。「教育先進国」をアピールするには、先生がゆとりを持てる環境づくりを国や県任せではなく急がなくてはならないと思っています。</p>
教 育 長	<p>ただ今から、平成29年第7回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
各 委 員	署名
教 育 長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件、人事案件及び議会提出案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p> <p>教育委員提案③ 図書館の今後の運営について</p> <p>報告第4号 戸田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について</p> <p>報告第5号 戸田市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について</p> <p>議案第25号 平成29年度行政評価(案)について</p> <p>議案第26号 平成29年度一般会計教育委員会関係9月補正予算(案)について</p>
各 委 員	異議なし
教 育 長	それでは「教育委員提案③、報告第4号、報告第5号、議案第25号

	及び議案第26号」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。先月の教育委員会にて委員より御提案のあった件について報告がございます。</p> <p>① 各学校における産官学民との連携の状況等について（吉田委員提案）</p> <p>② 教員同士で学び合い、高め合う研究協議について（土肥委員提案）</p> <p>③ 図書館の今後の運営について（仙波委員提案）</p> <p>それでは吉田委員から御提案のありました「教育委員提案① 各学校における産官学民との連携の状況等について」事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>①各学校における産官学民との連携の状況等について報告します。</p> <p>資料1ページから3ページを御覧ください。具体的な連携状況を掲載しております。</p> <p>主なものを御紹介しますと、1ページ中段の「プログラミング教育」については、教員研修はもちろん、多くの学校の実際の授業レベルで、様々な業者と共同研究が行われております。また、資料に掲載はしていませんが、学校経営アドバイザーの江添信城先生が、各学校をまわりながら、プログラミング教育の研修や実際の授業を行っており、産官学民とあわせると今年度中には、全小学校でプログラミングの授業が実施される予定です。</p> <p>次に2ページの「理数教育の充実」については、先日実施したサイエンスフェスティバルでの連携のほかに、(株)リバネスが、全学校の理科教育の支援をいただいています。特にリバネス発行の理科の季刊誌「someone」を全中学校の生徒分を無料でいただき配布をしたところです。このリバネスは、小学生・中学生・高校生への理科教育を中心に、社員が理系修士号・博士号取得者のみで運営されているという理系のバックグラウンドを活かした企業です。本市の21世紀型スキル育成アドバイザーの森安康雄様に御紹介いただき、連携をしております。</p> <p>この森安様から(株)リバネスのつながりのように、一つの連携が、さ</p>

	<p>らに他の連携を生むという相乗効果を感じているところです。</p> <p>このように、各学校における連携が進んでおりますが、中学校においても産官学民の連携を一層進めるために、各中学校における連携について管理職と検討をしているところです。</p> <p>さらに、前回、仙波委員から御提案いただきました産官学民との連携における、そもそもの目的について、表の右側に記載いたしました。この目的は、4ページにあります第3次戸田市教育振興計画の基本目標に関わる「施策の方向」の教育政策室に関わる部分の主なものを記載しております。</p> <p>記載されている主な「施策の方向」の数を多い順に申し上げますと、確かな学力の向上が8つ、教員の資質向上が6つ、新しい学びの創造が5つ、国際社会で活躍できる人材の育成が3つとなっており、豊かな心の育成、健やかな体の育成、特別支援教育の充実が1つずつとなっています。</p> <p>実際には、「確かな学力の向上」や「教員の資質向上」の中に数の少なかった「施策の方向」に関わることも含まれますので、一概に数の多さだけでは表されない部分があったり、数は少なくても、全学校で実施しているなど、密度の違いなどもあったりするわけですが、いま申し上げた数の少なかった、「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「特別支援教育の充実」については、大変重要な施策ですので、連携先の開拓などを一層進めていきたいと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>多くの事業者と連携し、その知見を取り入れているのですね。それをどのように活用していますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>各学校長のカリキュラムマネジメントに活用していただいております。例えば、インテルティーチプログラムを実施している新曾小・美笹中では、教育委員会事務局が進めようとしている施策を実感していただ</p>

	<p>いていると感じています。これを他校にも浸透させていきたいと考えております。</p>
委 員	<p>教育長にお伺いします。必ず全校に浸透させたいものはどれですか。</p>
教 育 長	<p>既に全小・中学校で実施しているものは、これからも進めていくべきものであると考えています。</p> <p>産官学民との連携により、業務改善につながり、教員の多忙化が解消されていくことを期待しています。これまでもメンター研修から校内研修へと、良い方向へつながっていると感じています。</p>
委 員	<p>本当に素晴らしいことだと思います。校長先生のカリキュラムマネジメントが重要となりますね。校長先生はいつまでにカリキュラムデザインを行うのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>期限はないのだと思います。よいものは残り、そうでないものは淘汰されていくと考えています。ミニマムスタンダードは作るべきであると考えていますが、各学校の特色を生かせるよう、教育委員会事務局はコーディネートを行ってまいります。</p> <p>教育長の営業活動が実り、これだけの連携が実現したところです。この連携により、教員の負担が軽減されてほしいと願っています。</p>
教 育 長	<p>これだけの一覧表を見ると、大変と思われるかもしれませんが、しかし、連携により現在の負担を軽減できる場所はたくさんあると思います。</p> <p>AIが加速化して今ある仕事の8割がなくなると言われていますが、将来を生き抜くためにどのような力が必要なのか、各事業者から様々な知見をいただいて、未来を先取りしてとだっ子の幸福のためにこれからも進めていきたいと考えています。</p> <p>このような戸田市の取組を参考にしたいと、様々な自治体の視察受入れや講演等、出張へ行く機会が増えました。アウトリーチを通して、戸田市のシティセールスを広めたいと思っています。</p>

委 員	連携先がたくさんあるので、それぞれの連携について、どのような効果等があるのかという評価までできるか心配です。
事 務 局	学力学習状況調査を利用し、長い時間をかけてエビデンスをとる予定ですが、それ以外にも連携先には客観的なデータを出してほしいと依頼しています。
教 育 長	各学校でエビデンスをとったり、評価したりするには大変な労力がかかりますし、専門性が必要であると思います。そのため、連携先をお願いすることで、更に連携が深まると考えています。個人情報等には十分配慮し、連携先が求めるデータを提供し、連携先にエビデンスを出してもらおうという無償の共同研究と位置付けています。現在のところ、よいスパイラルで進んでいると感じています。
委 員	全中学校で「非認知スキルの育成」を実施していますが、具体的にはどのようなものでしょうか。
事 務 局	大学や関係機関と連携して、非認知スキルの調査を実施しています。その考察や他の調査との関連について分析していただいています。
委 員	どのようにしたら非認知スキルを育てられるのでしょうか。
教 育 長	やり抜く力をどのように授業に生かしていけるか、人間のやる気スイッチはどこにあって、それを利用した学習意欲の向上に向けた効果的な指導方法等を研究しています。近々分析結果が出そうなので、その際には御報告いたします。この研究については、文部科学省の国立教育政策研究所からも大変注目されているものです。
教 育 長	他に御質問等がないようですので、続きまして土肥委員から御提案のありました「教育委員提案② 教員同士で学び合い、高め合う研究協議について」事務局より説明願います。
事 務 局	②教員同士で学び合い、高め合う研究協議について報告します。  資料5ページを御覧ください。これまでも研究授業終了後に、授業を

行うだけでなく、授業を参観した教員が研究テーマに沿った話し合いを行っております。これまでの一般的な研究協議は、資料の写真にあるように、授業者の先生を中心に参会者が質問や意見を述べて、それに授業者や共同研究をした教員が回答、そして最後に指導者が指導講評をするというものでした。もちろん、これで協議が深まれば、大変意味があり、否定するものではありませんが、参会者が積極的に協議の視点を持ち、意見を述べるなどの意欲や、意見を焦点化するなどの司会者の力量が求められるものです。また、一部の人だけの意見で協議が進んでしまい、全く発言せずに協議が終わるなどの課題もありました。

そこで、6ページを御覧ください。現在、各学校の課題研修でも取り入れているのが、ワークショップ形式による協議です。いわゆるKJ法を用いて、付箋などを活用し、全員が自分の意見を持ち、発表することで主体性が生まれ、協議が深まる効果があります。指導者などがファシリテーターとなることで、議論を活性化させることもできます。

また、7ページのように、席を設けず自由に話し合うワールドカフェ形式や、講師を招聘しての教員対象の模擬授業なども行われています。

8ページを御覧ください。現在、指導担当の学校訪問の改革を進めております。具体的には、これまでの学校訪問は、指定された教科についてのみ授業を行っていましたが、校長のカリキュラムマネジメントを生かせるようにし、学校が教科の選択をできるようにしたり、各学校の課題研修と関連させたりするものにして、実施しております。先程申し上げた、ワークショップ形式の研究協議については、学校訪問の研究授業にも取り入れております。全員で一つの授業を参観し、協議することで、特に中学校については、教科間の情報共有が図りにくかったのが、学校全体で組織的に授業改善に取り組むなどの効果も出てきております。

教育委員の皆様には、1学期に小学校2校、中学校2校の学校訪問で午前中の授業を参観いただき、ありがとうございました。2学期は、午後の研究協議の部分も御覧いただければと思っておりますので、改めて御案内をさせていただきます。



教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	子供たちもアクティブ・ラーニングをしているのですから、先生方も同じようにやってみることがいいのではないのでしょうか。ぜひこのような方法で共有化してください。私もその様子を研究授業に伺った際に拝見したいと思います。
委 員	どんどん新しいことにチャレンジしていて良いと思います。私が学校現場にいた頃思ったのが、1人の教員につき、研究授業が1年に1回あったとしても、小学校9教科が終わるまでに何年かかるかということでした。もっとローテーションを早められないものでしょうか。
事 務 局	動画配信のようなシステムづくりや他市との連携、校長のカリキュラムマネジメントなど、様々なものを活用できるよう、学校を支援していきたいと考えております。
委 員	簡単な指導案でよいので、学校訪問を年1回ではなく増やしたらいかがでしょうか。
教 育 長	<p>日程的に難しいところです。学校訪問だけでなく、臨時的任用教員にも本市の指導主事は指導に行っており、授業力向上に力を入れております。</p> <p>教育事務所から学校訪問の形式を変えるべきかというアンケートがありました。県内で本市だけが手を挙げたようです。昨日行われた教育課程説明会のように教員が一同に会するのではなく、効率的に行えるような環境づくりをしていかなければならず、県に対しても日々改善点を意見する自治体でありたいと思っています。</p>
教 育 長	<p>他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして、4件の報告がございます。</p> <p>① 平成29年第3回戸田市議会定例会（6月）における要望等事項について</p>

	<p>② 「戸田市立中学校学校選択制のご案内」冊子の配付について</p> <p>③ 学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について</p> <p>④ その他</p> <p>詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
<p>事務局</p>	<p>①平成29年第3回戸田市議会定例会（6月）における要望等事項について報告します。</p> <p>先月御報告いたしました平成29年第3回戸田市議会定例会における一般質問において、竹内議員から資料のとおり要望がありました。回答につきましては資料のとおりです。</p>
<p>事務局</p>	<p>②「戸田市立中学校学校選択制のご案内」冊子の配付について報告します。</p> <p>別添冊子を御覧ください。平成30年度戸田市立中学校入学児童を対象に配布したものです。</p> <p>1 ページ下段に戸田市の中学校選択制の基本方針を示しております。昨年度との変更はございません。</p> <p>2 ページからは、今年度の選択制についての手続を記載しております。昨年度との変更はございません。定員の上限を35人として、各校の定員は、校長と協議し、教育委員会が決定します。</p> <p>各中学校の受入予定定員数（上限35人）を9月8日に周知し、正式な受入定員数を11月10日に周知します。受入人数につきましては、昨年度と同様、各中学校長と協議して最終的な受入定員数を決定いたします。定員を超えた場合は、抽選となります。抽選は11月18日（土）に行います。その後、補欠者繰り上げ期間を設け、2月20日（火）が最終決定となります。</p> <p>昨年度までとの変更点について、22ページを御覧ください。</p>

	<p>黄色の様式の【B票】「入学希望申込書」の裏面に、昨年度までは付けていなかった「アンケート」を加えました。昨年度までは、【B票】「入学希望申込書」を提出した保護者に対して、改めて別にアンケート用紙を送付し、回収していましたが、保護者の負担軽減や事務の効率化を図るため、今年度からは一度に済むようにしました。</p>
事務局	<p>③学校総合体育大会二市大会の結果及び県大会出場種目について報告します。</p> <p>資料2ページを御覧ください。学校総合体育大会二市大会の結果を記載しております。下線部分は、草加市との県内大会出場、波線部分は、県大会出場となっております。</p> <p>3ページを御覧ください。県大会に出場した学校、競技、種目の一覧です。記載にはありませんが、現在のところ、関東大会や全国大会に出場した学校を申し上げますと、戸田中のボート部が全国大会出場となっております。他には、新曽中の卓球部男子団体が関東大会、体操が全国大会出場となっております。また、水泳で4人が全国大会、1人が関東大会に出場いたします。</p> <p>また、先程、喜沢中の陸上部走り幅跳びが関東大会出場という報告がありました。喜沢中の陸上については、記載から漏れており申し訳ありませんが、県大会にも出場しております。</p>
教育長	<p>次に④その他ですが、事務局より何かありますか。</p>
事務局	<p>現在、来年度から使用される小学校「特別の教科道徳」の教科書採択期間ですが、「教育と自治・埼玉ネットワーク」から、2018年度使用小学校道徳教科書の採択に係る請願が送付されました。委員の皆様の机上に配付させていただきました。</p>
教育長	<p>以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>それでは、特に質問がないようですので、次に、「議案第24号 戸田市いじめ防止基本方針の改訂について」を事務局より説明願います。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>戸田市いじめ防止基本方針につきましては、5月の定例会の際に改定案を御提示させていただき、その後、6月15日から7月14日までの約1ヶ月間パブリック・コメントを実施したところ、4件の御意見をいただきました。</p> <p>1件目は、「児童会活動や生徒会活動のように、子供が自分のことと考えられる主体的な取組を積極的に行うことが大切だと思う。」というものです。この御意見については、改定案10ページの(4)「学校におけるいじめ防止等に関する取組」に記載しております。児童生徒が主体的に参画するいじめの防止に向けた活動を支援し、いじめをしない、させない、許さない風土づくりが進められるよう、取り組んでいくということ、また、「戸田市いじめ根絶ピースプロジェクト」を全小・中学校で取り組んでいくという回答案としております。</p> <p>2件目は、「学校はいじめを隠さず、積極的に認知し、加害者に対して、二度と同じことを繰り返さないように徹底的に指導して欲しい。」というものです。この御意見については、改定案2ページの「(2)いじめの認知に関する考え方」、や4ページ「4いじめ解消の定義」に記載しております。このたびの改定案のポイントでもありますが、極めて初期段階のいじめも含めて、組織で認知し、被害児童生徒を徹底的に守り通し、加害児童生徒に対しては教育的配慮の下、関係機関と連携しながら、毅然とした態度で指導し、見守っていくように対処していくという回答案としております。</p> <p>3件目は、「ニュースを見ていると、いじめを助長する言動の先生がいたことで、いじめがエスカレートしていったと言っていた。そのような先生はこの基本方針の趣旨を理解しているのか。」というものです。この御意見については、改定案1ページ「1いじめ防止等のための対策に関する基本理念」に記載しております。すべての教職員は、児童生徒が安心し</p>

	<p>て学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめがなくなることを目指して対策を講じなければならず、いじめ防止に係る教職員の資質向上を図るとともに、カウンセリングマインドを生かして、児童生徒一人一人の内面理解に基づいた生徒指導が推進できるよう、学校に対して指導していくという回答案としております。</p> <p>4件目は、「いじめの定義が広がったことで、学校現場の対応が追いつかないことがあるのではないかと心配している。」というものです。この御意見については、改定案10ページ(3)「いじめ事案における学校内の情報共有」に記載してあるとおり、市では現場の負担を軽減できるよう、統一の報告様式を作成し、共有した情報を簡潔に報告できるようにしました。さらに、学校いじめ問題等対策委員会が中心となり、外部専門家の助言を得ながら、組織的な対応を行うことで、重大事態が見逃されることや教職員の判断の偏りを防止できることから、これまで以上に負担が軽減できるものと考えているという回答案としております。</p> <p>4件すべての御意見については、すでに改定案に対策について、盛り込んでいるものです。今後につきましては、議決後速やかに各学校に改定した基本方針を周知いたします。その後、各学校が改定基本方針を参酌し、自校の基本方針の改定を行うこととなります。</p>
<p>教育長</p>	<p>以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>教育長</p>	<p>他の基礎自治体に先駆け、いじめは既に起きているという危機意識のもと、様々な方から知見をいただき、共有しながら改訂を行ったもので、誇れるものであると思っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは、特に質問等がないようですので打ち切ります。議案第24号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>異議なし</p>

教 育 長	異議なしと認め、議案第 2 4 号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	次に、次第の 6 その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが 8 月 2 4 日（木）午前 9 時 3 0 分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	来月の教育委員提案のテーマについて委員から何かございますか。
委 員	教職員の多忙化対策の進捗状況について説明をお願いします。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	修学援助制度について、最近制度改正もあったかと思いますが、改めて制度の説明と支給状況について説明をお願いします。
事 務 局	承知いたしました。
委 員	かねてより御報告いただいているプログラミング教育について、教員研修の状況や体制等について説明をお願いします。
事 務 局	承知いたしました。
教 育 長	それでは、「教育委員提案③、報告第 4 号、報告第 5 号、議案第 2 5 号及び議案第 2 6 号」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に関係する職員以外は退席願います。

	<p>【教育委員提案③、報告第4号及び報告第5号を報告、議案第25号を議決】</p>
教育長	<p>次に、「議案第26号 平成29年度一般会計教育委員会関係9月補正予算（案）について」を事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>資料8ページを御覧ください。まず、歳入について申し上げます。</p> <p>国庫支出金について、文部科学省より「教員養成・採用・研修の一体的改革推進事業」の委託を受け、その委託金として193万9千円を増額補正するものです。</p> <p>次に、県支出金について、文部科学省が埼玉県に委託し、県が戸田市に再委託する「英語教育強化推進事業」について、その委託金の20万円を増額補正するものです。</p> <p>最後に諸収入について、先程の「教員養成・採用・研修の一体的改革推進事業」で任用する非常勤嘱託員の雇用保険本人負担金を増額補正するものです。</p> <p>続きまして、歳出について申し上げます。</p> <p>まず、教育センター管理運営費において、教育センターの空調修繕に係る増額補正です。庁内で実施しました公共施設の保全計画の調査において緊急性が認められ、教育センターの空調修繕を行うものです。</p> <p>次に、9ページの小学校自己肯定感育成事業に係る補正は、先程の歳入で申し上げた「教員養成・採用・研修の一体的改革推進事業」を特定財源とするものです。本事業は、プログラミング教育を推進するための事業です。非常勤嘱託員の任用は、学校経営アドバイザーを46日間任用することを予定しており、民間企業と学校の連携や教員研修のコーディネートを円滑に行い、プログラミング教育の推進を加速化いたします。33万2千円を増額補正するものです。</p> <p>続いて、研究・研修事業に係る補正は、先程の歳入で申し上げた「教</p>

	<p>員養成・採用・研修の一体的改革推進事業」と「英語教育強化推進事業」を特定財源とするものです。</p> <p>「教員養成・採用・研修の一体的改革推進事業」では、先程の賃金に加え、民間事業者プログラミング教育研修業務の委託料、研究校における消耗品費、文科省への報告書作成の印刷製本費等、合計160万7千円を増額補正するものです。</p> <p>「英語教育強化推進事業」では、これまでも受託している事業の後継事業であり、外部指導者を招聘する講師謝礼、推進校の研究発表に係る消耗品の20万円を増額補正するものです。2つの事業費合計としては、180万7千円を計上しております。</p> <p>教育センター空調修繕を除く歳出補正については、すべて国や県の委託金を特定財源としております。</p>
教 育 長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教 育 長	それでは、特に質問等がないようですので打ち切ります。議案第26号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委 員	異議なし
教 育 長	異議なしと認め、議案第26号は提案内容のとおり議決いたします。
教 育 長	それでは、本日の案件等すべて終了いたしましたので、以上をもちまして、本日の教育委員会定例会を閉会いたします。